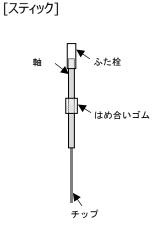
動物用 一般医療機器 その他の受精卵移植用器具

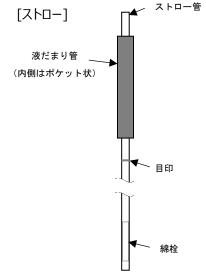
ガラス化胚簡易取扱セット ビトラン-7

【禁忌·禁止】

·再使用禁止

【形状・構造及び原理等】





[スティック挿入図] はめ合いゴムでストロー管と軸の位置を固定

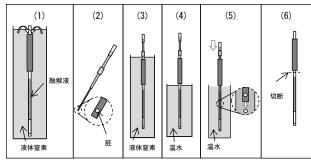
【原料及び材料】

| 部位 | 名称 | 原材料 |
|-------|--------|--------------------|
| スティック | チップ | 塩化ビニル、ポリイミド |
| | 軸 | ステンレス鋼 |
| | はめ合いゴム | シリコーンゴム |
| | ふた栓 | 塩化ビニル、ポリウレタン |
| ストロー | ストロー管 | 塩化ビニル、綿、ポリビニルアルコール |
| | 液だまり管 | ナイロン |

【使用目的又は効果】

- (1) 胚(受精卵)のガラス化、保管、融解の工程を実施するセットである。
- (2) 温水による融解液の加温の間、液だまり管のポケット状内部の液体窒素が冷却を継続して胚の緩慢な昇温を防ぎ、融解時の障害を防ぐ

【使用方法等】



- (1) ストロー管の目印まで融解液を充填し、綿栓側を 下にして液体窒素に浸漬して凍結する。
- (2) スティックのチップ上に胚(受精卵)を乗せてガラス 化する。

- (3) 冷却継続中のストロー管に上部から挿入し、はめ合いゴムとストロー管を接続する。この状態で液体窒素の中で保管する。
- (4) 胚移植作業に移行の際、液体窒素から取り出しストロー管下部を温水に浸すことで融解液を解凍する。 (※液だまり管がポケット状になっているため、ポケットに液体窒素が溜まり胚のガラス化を維持)
- (5) スティックをストロー側に押し込み、チップを加温された融解液中に浸すことでチップ上の胚を融解、離脱させる。
- (6) スティックを抜き、液だまり管下でストロー管を切断し、 胚移植作業に移行する。

【使用上の注意】

- (1) 包装および製品について、破損・汚損等の異常がある場合は、使用しないこと。
- (2) 再使用禁止。

【保管方法及び有効期間等】

水ぬれに注意し、高温・多湿・直射日光を避けて保管すること

【製造販売業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 : エア・ウォーター・リアライズ株式会社 住所 : 茨城県笠間市長兎路 1320 番地 5 TEL/FAX : 0296-77-8649 / 0296-77-8849

【製品に関するお問い合わせ先】

エア・ウォーター・リアライズ株式会社 電話 : 0120-305-765 〈受付時間 : 9:00~17:00〉

Form No. S1PH-9930-02 Rev.1